

2025年11月

2026年3月期

中間期

(2025年4月1日～2025年9月30日)

決算説明資料

ディービーエックス株式会社



当中間期の決算概況

要約連結損益計算書（中間会計期間）



第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しており、参考情報として単体の前年同四半期の数値および増減率を記載しております。

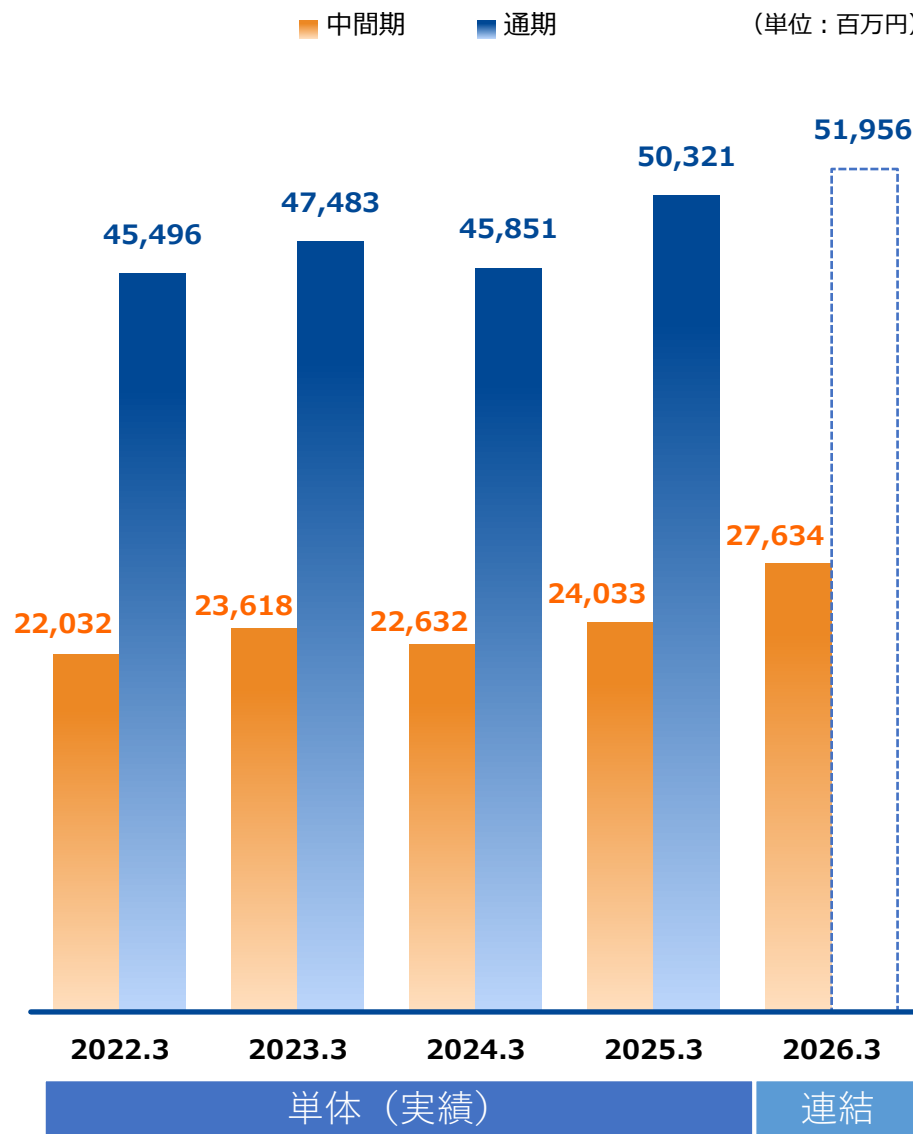
単位：百万円

	2026/3期上期 (連結)	構成比 (%)	2025/3期上期 (単体)	増減率 (%)
売上高	27,634	100.0	24,033	+15.0
売上総利益	2,598	9.4	2,394	+8.5
販管費	2,522	9.1	2,217	+13.8
営業利益	76	0.3	177	△57.1
経常利益	81	0.3	176	△53.7
中間純利益	38	0.1	115	△67.0

売上高 **276.3**億円

前年同期比 **15.0%増**

事業区分	実績 (百万円)	前年同期比 (%)
不整脈	22,701	+11.0
虚血	1,908	+36.4
その他	3,023	+38.2
合計	27,634	+15.0

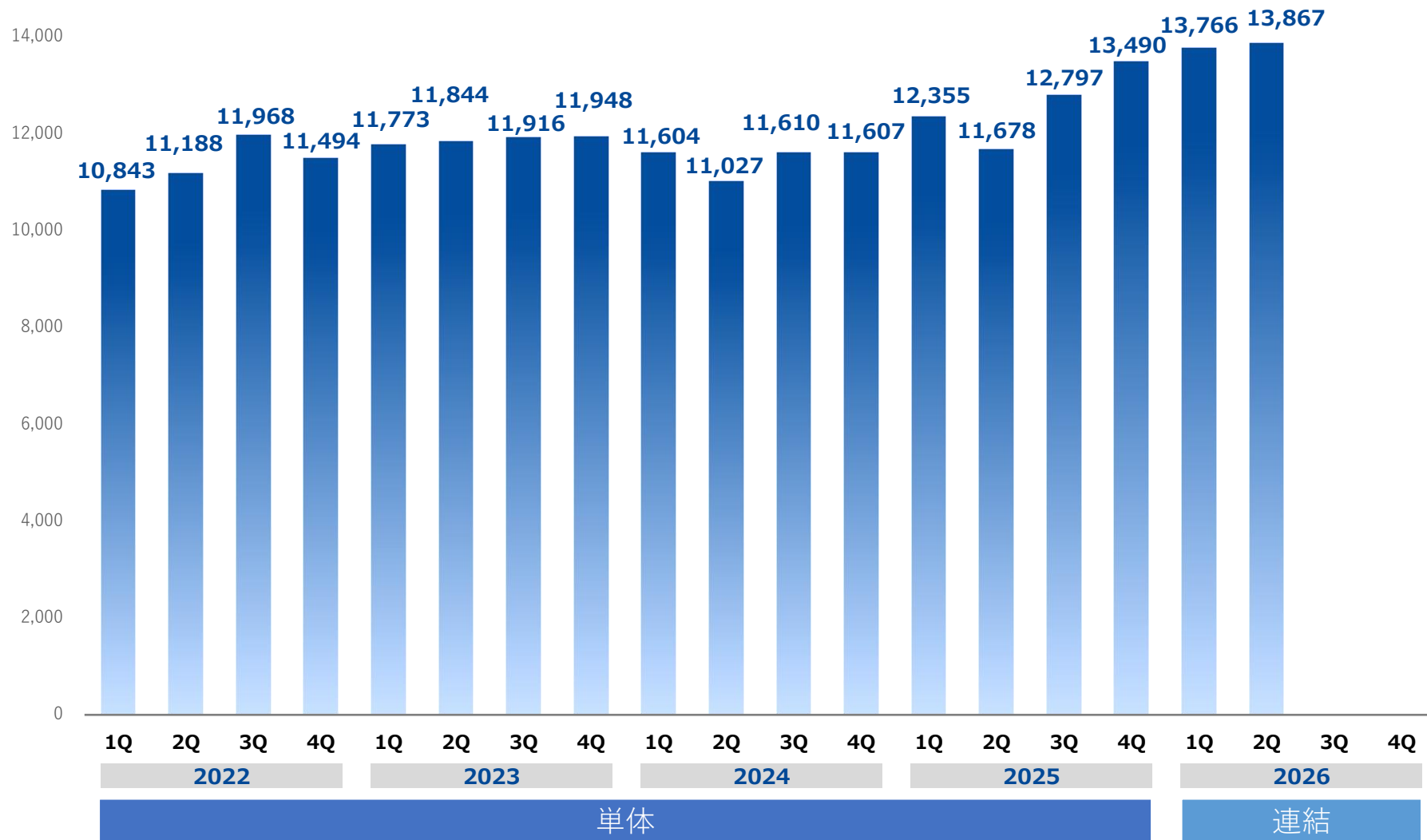


四半期売上高の推移



四半期売上高としては、過去最高となりました。

(単位：百万円)



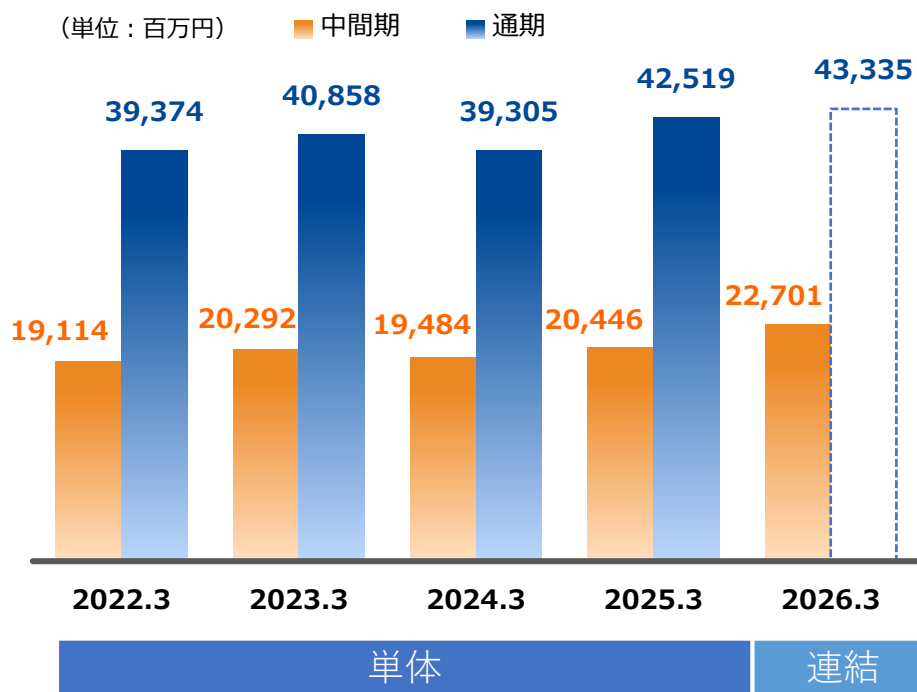
売上高（不整脈事業）



売上高 227.0億円

前年同期比 11.0%増

- 前期9月販売開始のPFAの普及により、電極カテーテル、ABL機能付カテ、冷凍ABLカテが減少



単位：百万円

	2026/ 3 期上期 (連結)	2025/ 3 期上期 (単体)	増減率 (%)
PM	1,953	1,979	△1.3
ICD	1,234	1,177	+4.8
CRT-D	866	889	△2.6
電極カテーテル	5,879	5,905	△0.4
心腔内エコーカテ	2,524	2,210	+14.2
ABL機能付カテ	2,451	3,017	△18.8
ABLカテーテル	43	130	△66.4
冷凍ABLカテ	228	1,452	△84.2
PFAカテーテル	3,430	52	+6,467.3
その他	4,090	3,632	+12.6
合計	22,701	20,446	+11.0

売上高（虚血事業）



売上高 19.0億円

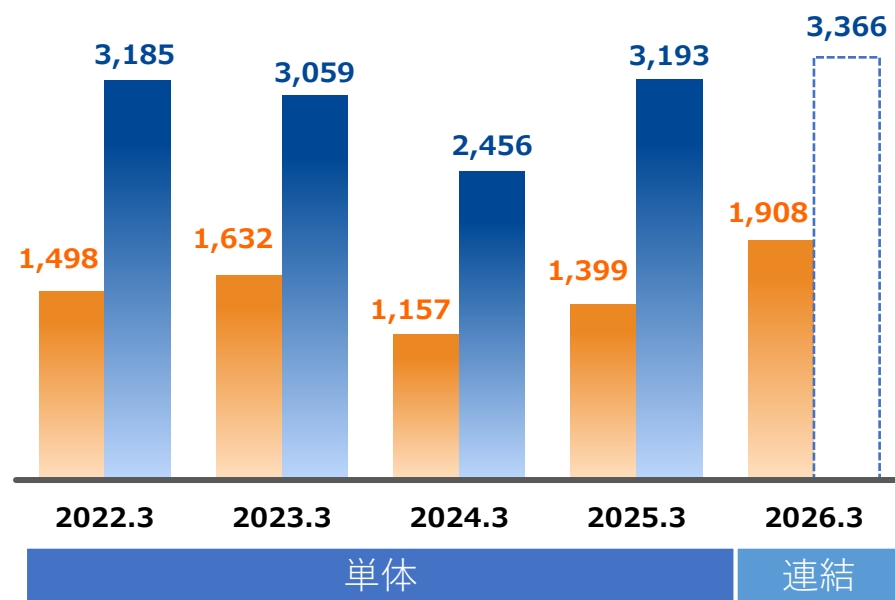
前年同期比 36.4%増

- RAQUOSの販売も順調に推移
- その他では前期下期に販売代理店業の新規施設獲得により増加

（単位：百万円）

■ 中間期

■ 通期



単位：百万円

	2026/3期 上期 (連結)	2025/3期 上期 (単体)	増減率 (%)
SPNC	53	129	△58.4
RAQUOS	146	110	+32.8
その他	1,707	1,159	+47.3
合計	1,908	1,399	+36.4

売上高（その他）



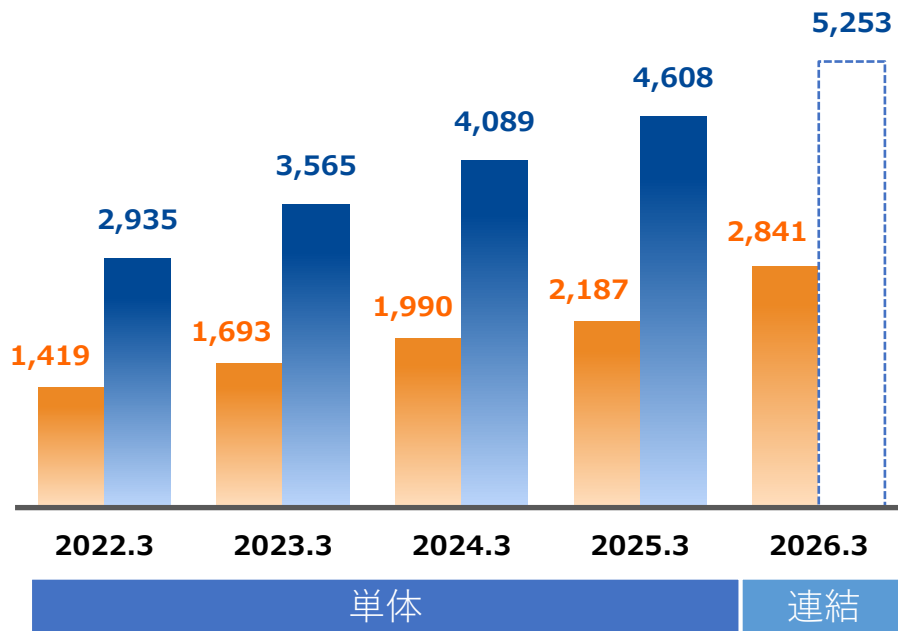
売上高 30.2億円

前年同期比 38.2%増

- 当社にとって新領域であるため伸びしろが大
- 好調：ストラクチャー（TAVI）

（単位：百万円）

■ 中間期 ■ 通期



単位：百万円

	2026/3期 上期 (連結)	2025/3期 上期 (単体)	増減率 (%)
ストラクチャー	1,232	948	+29.9
頭部腹部領域	872	721	+20.9
心臓血管外科	110	99	+11.1
外科	179	122	+46.5
その他	628	294	+113.3
合計	3,023	2,187	+38.2

※連結子会社の実績はその他に計上しております。

売上総利益 25.9億円

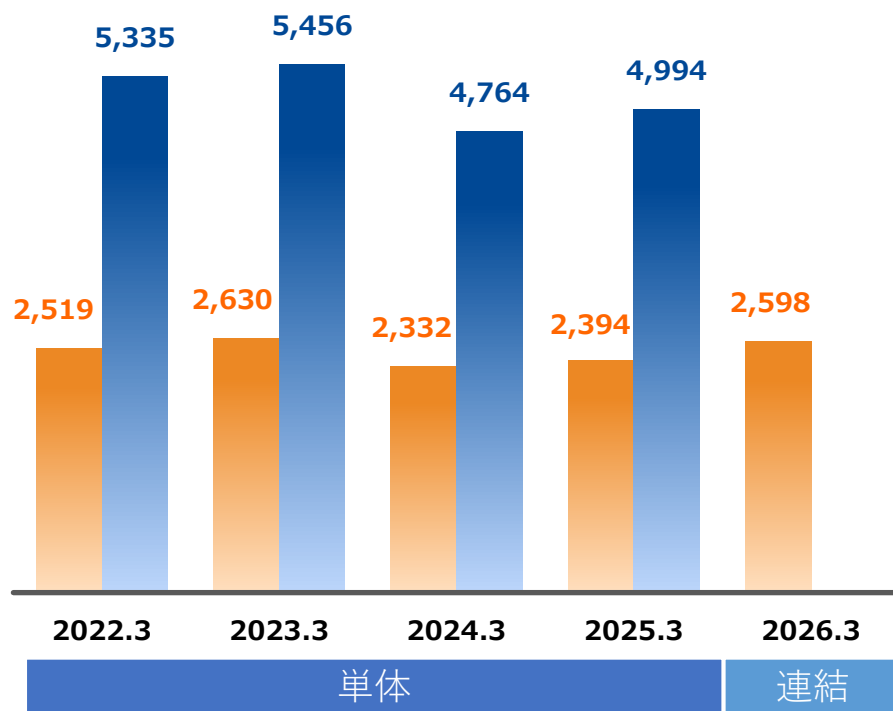
前年同期比 8.5 %増

■ 粗利率9.4%（前年同期10.0%、前期通期9.9%）

（単位：百万円）

■ 中間期

■ 通期



単位：百万円

	2026/3期 上期 (連結)	増減率 (%)
不整脈	2,019	+0.8
虚血	211	+29.7
その他	367	+61.2
合計	2,598	+8.5

売上総利益（事業別）



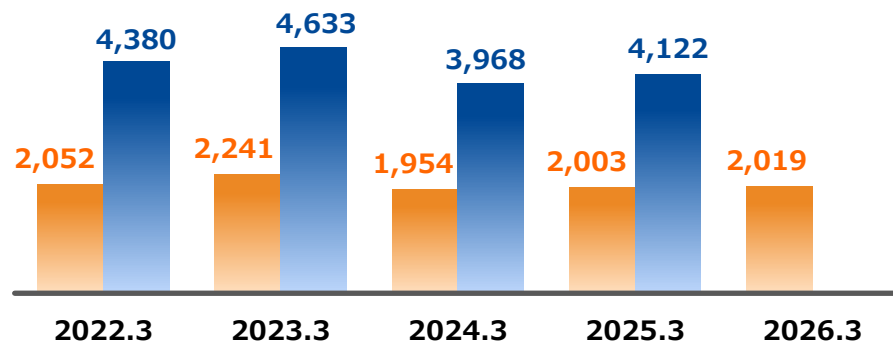
■ 中間期 ■ 通期 (単位：百万円)

不整脈事業

セグメント利益 **20.1億円**

前年同期比 **0.8%増**

- 粗利率8.9%（前年同期9.8%）
- 売上高増加、粗利率低下

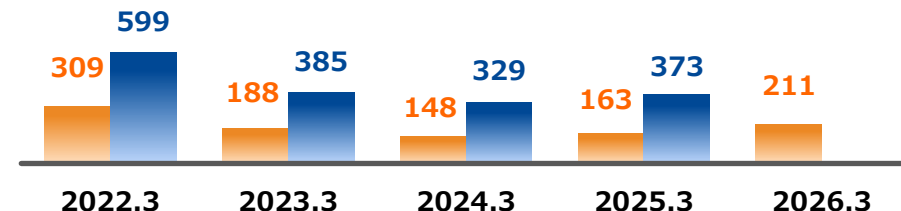


虚血事業

セグメント利益 **2.1億円**

前年同期比 **29.7%増**

- 粗利率11.1%（前年同期11.7%）
- 売上高増加、粗利率低下

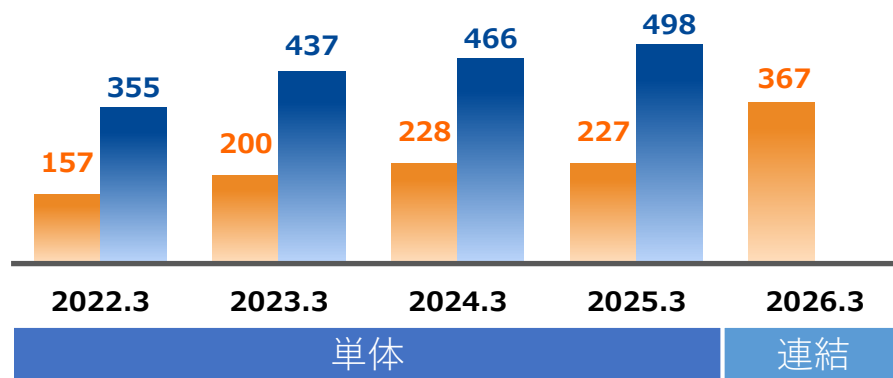


その他

セグメント利益 **3.6億円**

前年同期比 **61.2%増**

- 粗利率12.2%（前年同期10.4%）
- 売上高増加、粗利率改善

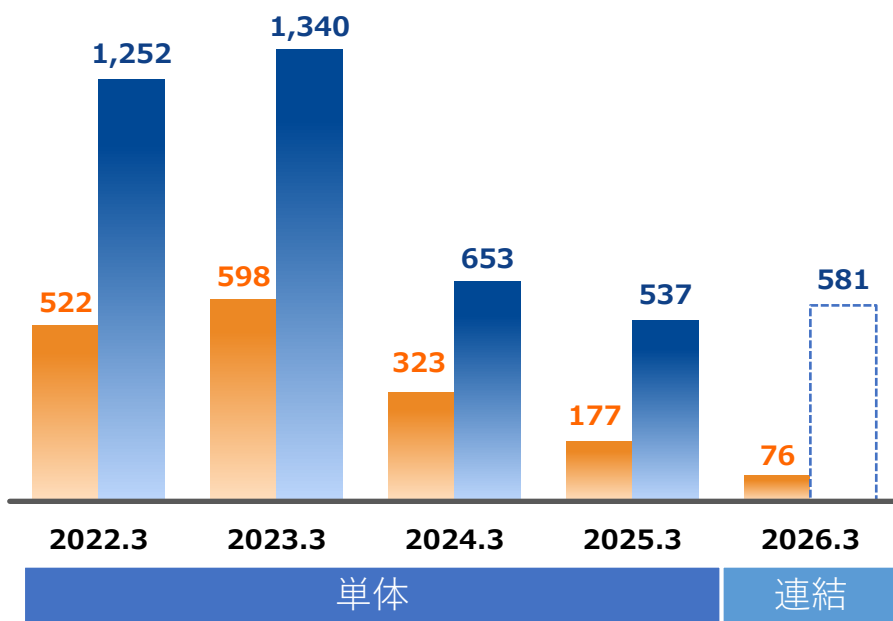


営業利益 0.7億円

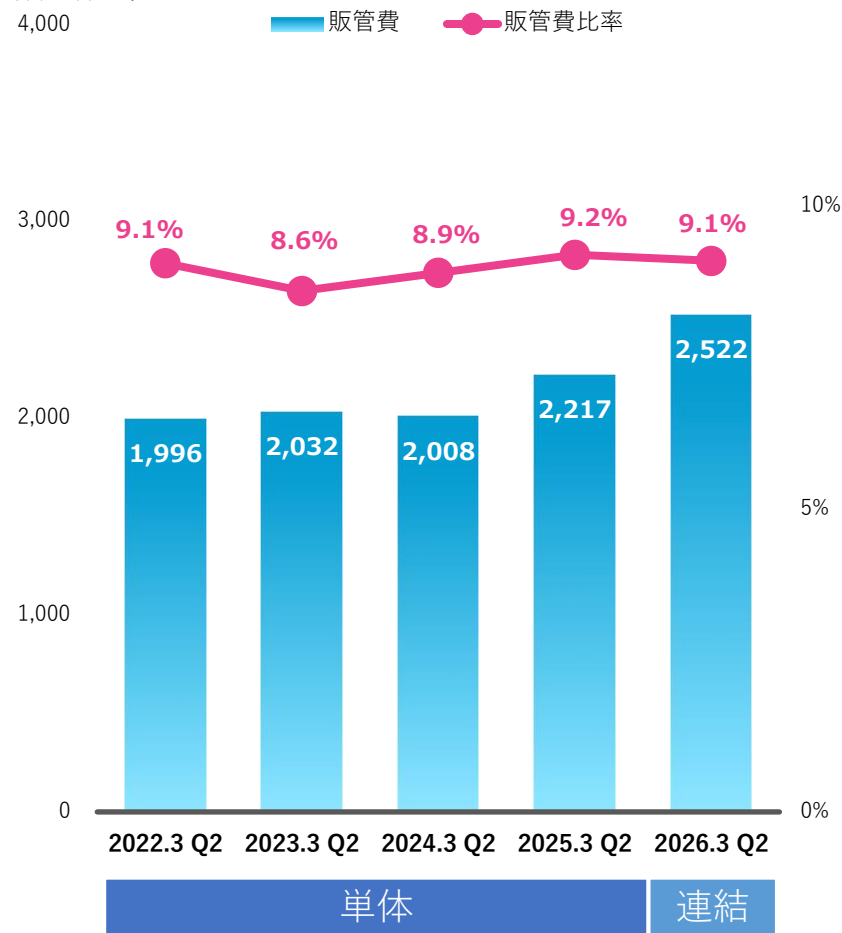
前年同期比 57.1%減

- 売上総利益 前年同期比8.5%増
- 販管費 前年同期比13.8%増
- 売上高営業利益率0.3%（前年同期0.7%）
- 売上高販管費比率9.1%（前年同期9.2%）

■ 中間期 ■ 通期 (単位：百万円)

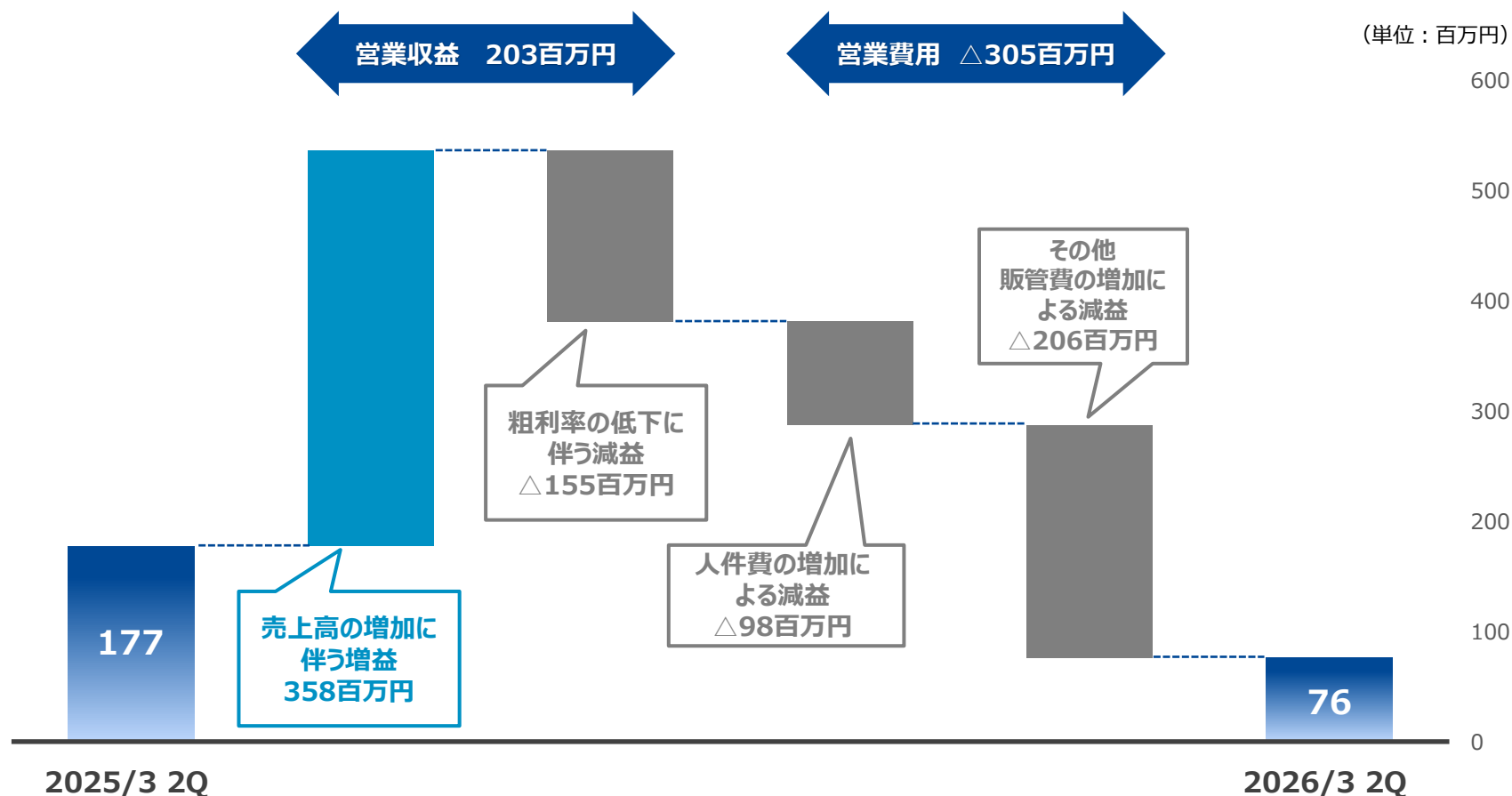


(単位：百万円)



営業利益増減分析

売上高の増加で358百万円増益、粗利率の低下で155百万円減益、人件費の増加で98百万円減益、M&A関連費用や本社移転関連費用など一過性の経費支出などにより、その他販管費が増加し206百万円の減益



■ 中間期 ■ 通期

(単位：百万円)

中間純利益 0.3億円

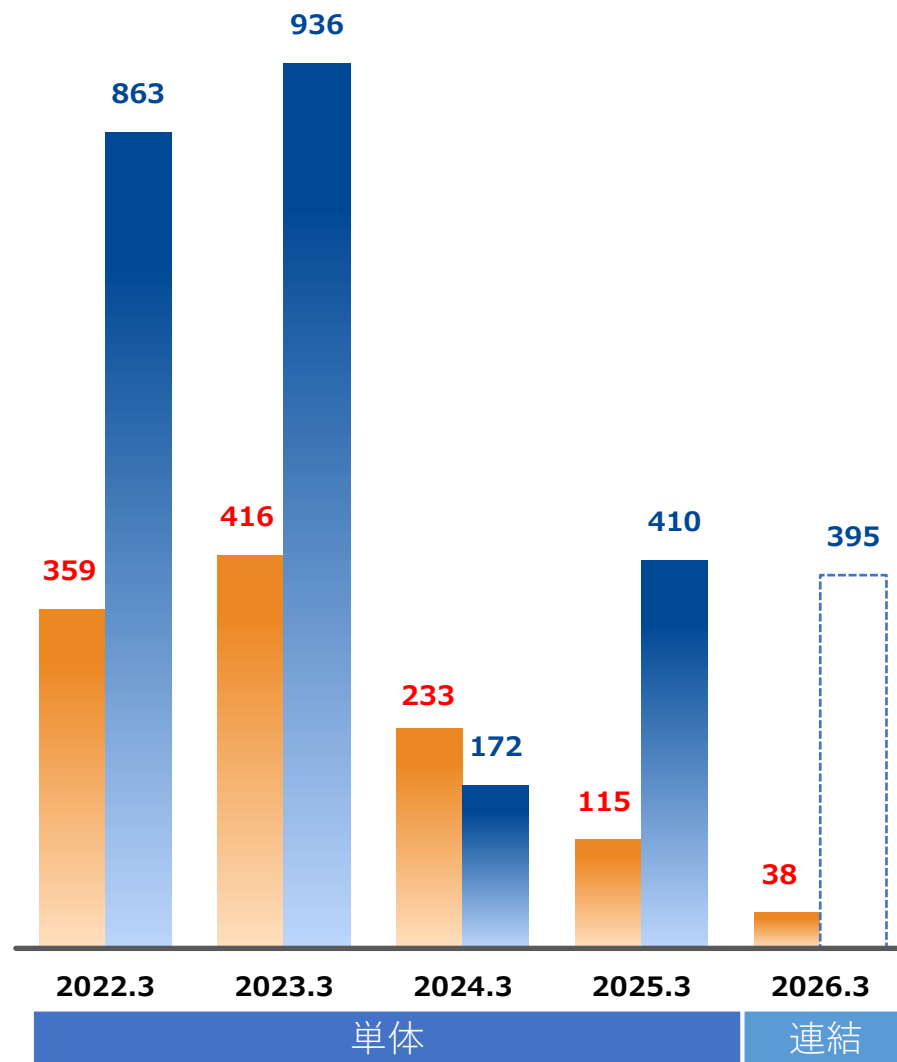
前年同期比 67.0%減

主な営業外損益

- 受取利息 1百万円
- 受取配当金 4百万円
- 投資事業組合運用損 1百万円
- 為替差損 1百万円

主な特別損益

- 固定資産売却益 0.7百万円
- 固定資産除却損 0.8百万円



要約連結貸借対照表



単位：百万円

	2026/3 中間期末 (連結)	構成比 (%)	2025/3 期末 (単体)	増減率 (%)	主な増減要因
流動資産	22,013	89.0	23,436	△6.1	現預金の増加（301百万円） 受取手形、売掛金及び契約資産の増加（264百万円） 電子記録債権の増加（340百万円） 金銭の信託の減少（△2,000百万円）
固定資産	2,713	11.0	2,100	+29.1	のれんの増加（275百万円）※
資産合計	24,726	100.0	25,537	△3.2	
流動負債	15,425	62.4	15,881	△2.9	買掛金の減少（△573百万円）
固定負債	633	2.6	528	+19.9	
負債合計	16,058	64.9	16,409	△2.1	
純資産	8,667	35.1	9,127	△5.0	利益剰余金の減少（△488百万円）
負債純資産合計	24,726	100.0	25,537	△3.2	

※のれんの金額については、中間期末において、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

要約連結キャッシュ・フロー計算書（中間会計期間）



単位：百万円

	2026/3期上期 (連結)	2025/3期上期 (単体)	当期の主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲599	718	税金等調整前中間純利益（＋81百万円） 減価償却費（＋336百万円） その他（＋337百万円） 売上債権の増加（▲557百万円） 棚卸資産の増加（▲238百万円） 仕入債務の減少（▲607百万円） 法人税当の支払（▲107百万円）
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲620	▲222	有形固定資産の取得（▲285百万円） 子会社株式の取得（▲321百万円）
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲570	▲522	配当金の支払（▲522百万円）
現金及び現金同等物の増減額 （▲は減少）	▲1,791	▲28	
現金及び現金同等物の期首残高	7,151	7,489	
現金及び現金同等物の中間期末 残高	5,360	7,460	

2026年3月期の見通し

2026年3月期の方針と取り組み



方針①	利益率、生産性向上 ～医療への持続的な貢献～	「効率的成長」に向け、インプット・アウトプット両面から生産性向上を図る。
方針②	地域的依存度低減 ～コア事業での競争力の保持～	全国展開とシェア拡大を推進し、拠点ごとに資本コストを意識したマネジメント力の強化を図る。
方針③	強靱な事業ポートフォリオ ～リスクの分散とニーズの追求～	主力製品の取引喪失による粗利率の低下や取扱い商品の減少による機会ロスを解消する。
方針④	新たな成長基盤の強化（市場） ～世界中の生命と健康を守る～	海外事業開拓と隣接事業開拓に向けて。
方針⑤	成長基盤の強化（組織） ～技術・環境の変化を機会にする～	全社的な取り組みとして、継続的な取り組み状況の開示。開示項目の充実を図る。

連結業績予想（売上高）



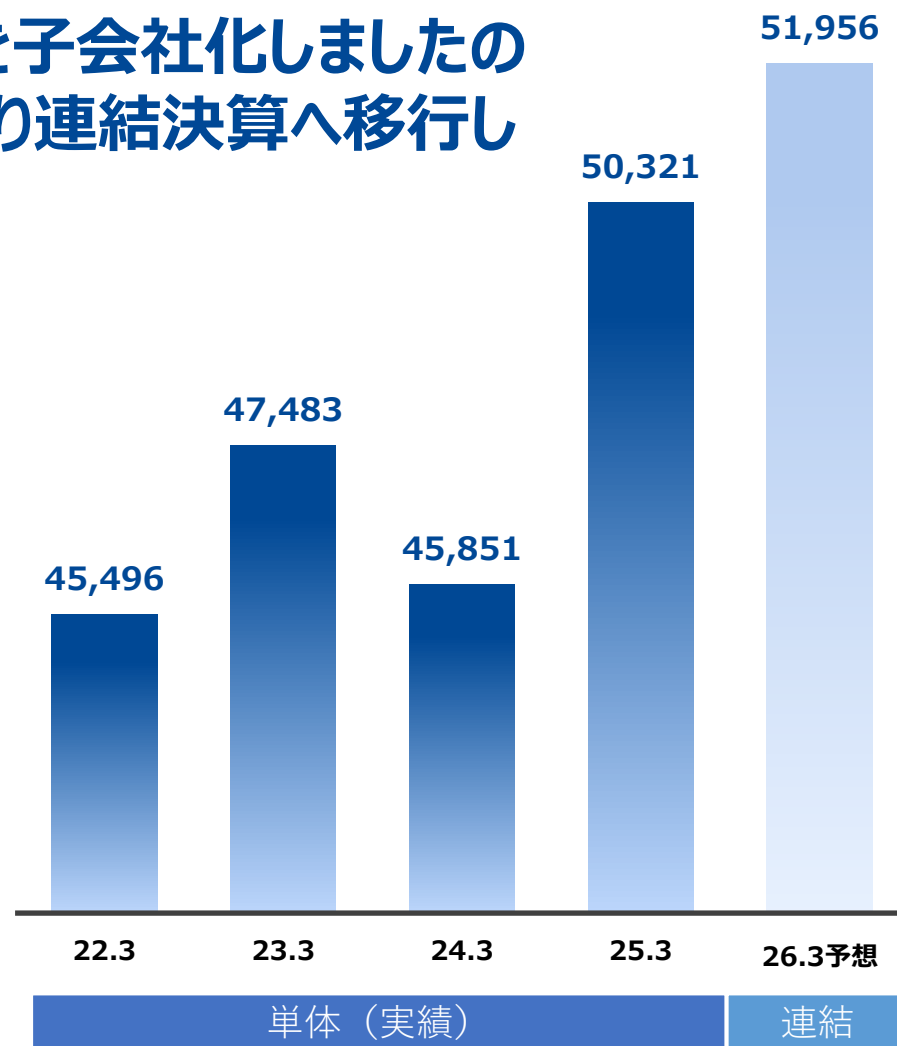
2025年4月2日付でホルター心電図解析サービスを行う総合医療サービス株式会社を子会社化しましたので、2026年3月期第1四半期より連結決算へ移行しました。

（単位：百万円）

売上高 **519.5億円**

前期比 — %増

- 全国展開、施設拡大、シェアUP、品目拡大による売上増加を見込む
- RAQUOSの拡販を見込む



連結業績予想（営業利益、当期純利益）

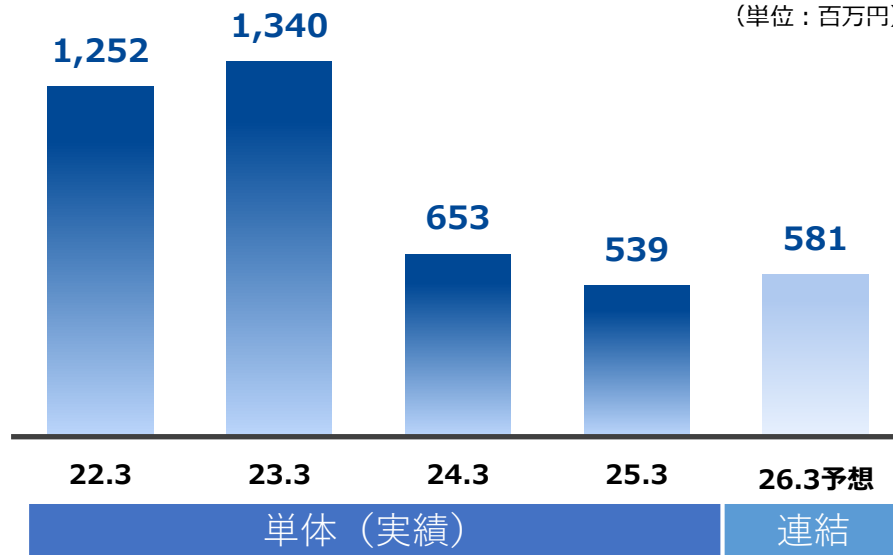


（単位：百万円）

営業利益 5.8億円

前期比 ー%増

- 売上高の増加を見込む（営業利益増加要因）
- 粗利率の上昇を見込む（営業利益増加要因）
- 販管費（人件費）の増加を見込む

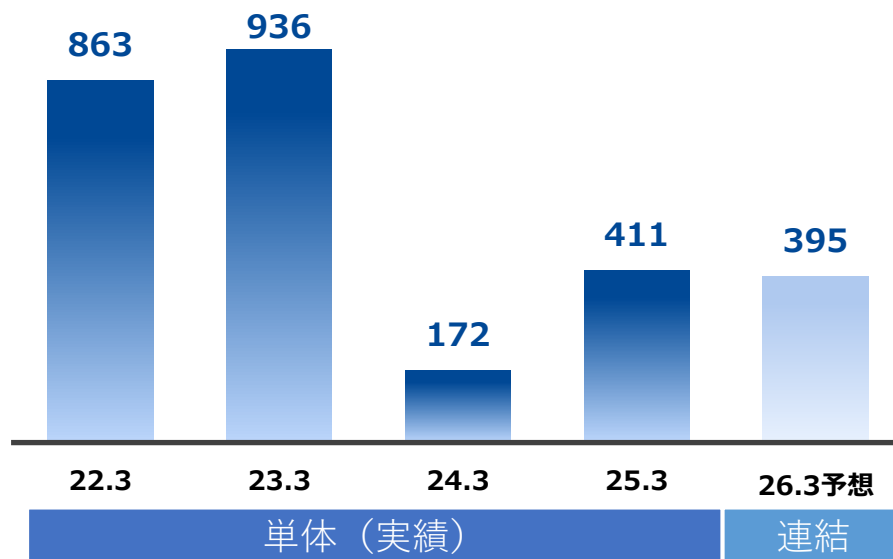


当期純利益 3.9億円

前期比 ー%減

予想EPS 37円66銭

前期実績 39円20銭



上期はM & A関連費用や本社移転関連費用の一時的なコストが発生、下期は計画通りの収益水準に回復すると見込んでおります。

(単位：百万円)

	通期 (計画)	当中間期 (計画)	当中間期 (実績)	進捗率 (対通期)	進捗率 (対中間期)
売上高	51,956	24,912	27,634	53.2%	110.9%
営業利益	581	120	76	13.1%	63.0%
経常利益	581	120	81	14.1%	67.9%
純利益	395	78	38	9.7%	48.8%

期末配当金 **50.0円**

2025年3月期 **50.0円**

配当性向 **132.8%**

2025年3月期 **127.6%**

配当方針は継続

(単位：円)

60.00

■ 配当金

● 配当性向

500.0%

48.00

50.00

50.00

50.00

400.0%

36.00

301.6%

300.0%

24.00

25.00

30.00

200.0%

12.00

22.3

23.3

24.3

25.3

26.3予想

0.0%

100.0%

127.6%

132.8%

29.9%

33.3%



*Development
Venture*

X (無限の可能性)

IRについてのお問い合わせ先 財務経理部

E-Mail : ir_form@dvx.jp URL : <https://www.dvx.jp/>

本資料はディーバイエックス株式会社の理解を促す参考に資するため、作成したものであり、本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。